

NPO 法人ぷるすあるは 第 10 期事業報告

ごあいさつ

平素より、当団体の活動にご理解、ご協力をありがとうございます。

NPO 法人ぷるすあるはは、絵本や Web サイトなどを通して、精神障がいなどがかかえた親、家族、その子どもたちを応援している団体です。

2012 年に任意団体としてスタートした当団体も、2015 年の法人化から 10 年が過ぎました。10 期のさまざまな取り組みについて、事業報告をまとめましたのでご覧ください。

10 期は、外部パートナーさんとの協働のなかで、法人サイトのリニューアルにあわせて、ぷるすあるはのビジョンと大切にしていることを見直しました。

この 1 年をサポートくださったみなさまへ、心から感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

あらためて ... ぷるすあるはが大切にしていること

- 必要だけどこれまでなかったものを作ることに誠実に取り組みます
- 「子どもには力があること、大人には力があること」
- さまざまな課題を、社会の構造から起きる問題ととらえて発信します

2025 年 1 月

NPO 法人ぷるすあるは

代表理事 北野陽子



事業報告書

ぷるすあるはの HP 「事業報告および決算報告」のページ
https://pulusualuha.or.jp/about/annual_report/

- 1 10 期の実績まとめ
 - 2 新刊絵本『ここにケガをしたら - トラウマってなんだろう?』
 - 3 絵本をひろげる取り組み
 - 4 「権利から始まるリソースマップ」 by チームクリフ
 - 5 サイト「子ども情報ステーション」
 - 6 声をありがとうございます
 - 7 実績 (メディア掲載、講演、制作物、受賞ほか)
 - 8 はじまりの美術館 展覧会レポート
 - 9 さいたま市絵画展レポート
 - 10 役員、スタッフからのひとこと 第 11 期へ
- ※ 第 10 期事業報告書、活動計算書、貸借対照表



1 10 期の実績まとめ (2023.10.1-2024.9.30)

情報サイトの運営

アクティブユーザー 48 万人
ページビュー 212 万

絵本の寄贈

およそ 180 冊
累計およそ 2500 冊

絵本・アイテム販売

およそ 1800 冊 / アイテム
※ぷるすあるはからの直接販売

キッズパワーサポーター 登録者数 (累計)

1,732 人 ※活動に賛同して登録
いただいている方です

新規コンテンツ制作

『こころにケガをしたら
- ト라우マってなんだろう?』
(ゆまに書房)



! NEW!

ぷるすあるはは
絵本やサイトなどのコンテンツをつくり、みなさまのお近くまでお届けしています

たとえばこんなシーンで ...



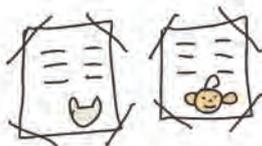
「絵本を読みながら家族で
病気について話をしました」



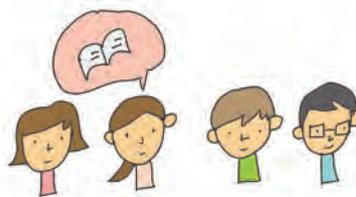
図書館で絵本に出会い、
日々を生き抜く知恵に...



「相談室でアイテムや絵本
を使っています、コミュニ
ケーションに役立っています」



「ダウンロードツールを印刷
して保健室に掲示しています」



「職場内で回覧して家庭の
理解に役立っています」



「メッセージとともに、
絵本を生徒へ手渡しました」

※2024 年 5 月、ぷるすあるはのサイト <https://pulusualuha.or.jp/> をリニューアルしました。
特に、トップページ、ビジョン、実績のページなどをアップデートしました。

2 新刊絵本『こころにケガをしたらトラウマってなんだろう？』

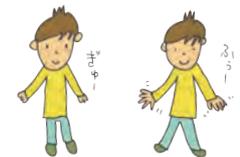
(ゆまに書房)

子ども一緒にこころのケガについて学び、一緒に取り組む絵本です。

原案・解説は、児童精神科医の犬塚峰子さん(みい先生)。2年近くの制作期間を経て、ハードカバーの絵本としては、2015年以來の新刊絵本を刊行しました。

「トラウマをかかえている子どもはどこにでもいますが、からだのケガとちがいで、本人にも、周りにも見えにくいのです。トラウマに気づくことができず、サポートも受けないままに時間が経過すると、その後の人生を通して、情緒、学習、行動、心身の健康にマイナスの影響をあたえる可能性があります。こういった背景をもとに、トラウマによる影響や対応方法を知り、トラウマがあるかもしれないという視点をもって、安全を重視して対応に取り組んでいく枠組み『トラウマ・インフォームド・ケア』の重要性が叫ばれるようになりました。近年、多くの本やリーフレット、情報がでていますが、日本オリジナルの絵本はまだわずかしかありません。子どもをなるべく早い段階からサポートできるように、子どもと大人の両方へ働きかけられる構成で、この絵本をつくりました。」(みい先生)

絵本パートにつづく、解説パートが充実しており、「この絵本を読んで自分の心の状態を理解できる力のある子もいると思うので学校に置いてほしい」「丁寧にじっくり学べるので、トラウマインフォームドケアについて、初めてふれる方にもおすすめ」といった反響をいただいています。大人の方にも活用いただける内容です。



関連アイテム

- ・情報リンク集
- ・ダウンロード素材
- 「こころのケガ」のまとめシート
- リラックス法ほか
- ・ワークブック
- ・カード

トラウマをテーマとした絵本なのでこわくならないよう意識しながら原画を描きました(チアキ)

3 絵本をひろげる取り組み(絵本で届けるこどもこそだて応援プロジェクト)

ぶるすあるのは絵本『生きる冒険地図』(学苑社)、『ゆるっとこそだて応援ブック』(ぶるすあるは)を、「絵本サポーター」の方を通して、子どもや親、家族へ届け、安心をひろげるプロジェクトです。

第4期は、13名の絵本サポーターさんに130冊の絵本を届け、活用いただきました。



シングルマザーのお茶会にて、ぷるすあるはさんや絵本についてのご紹介をしました。シングルでの子育て、精神疾患を抱えての子育てでの困り事について、手助けとなる内容に共感の声が集まりました。皆さんの顔が少し緩んで、力が湧いてくる様子でした。知り合いの、主任児童委員の方にも絵本をご紹介させて頂きました。「家族に、精神疾患を抱えている人の生活について、知識をあまり持っていなかったが、今後こういう視点も持って活動をしていきたい。」と嬉しい感想を頂きました。私が予想していた以上の反響があり、ご紹介できて良かったと思います。今後も引き続き、必要な方に有益な情報が届くように活動していこうと思います。合せて、社会の多くの人にも理解が深まるよう色々な機会を利用して広めていきたいです。



活動レポートより
ありがとうございます！

※公益社団法人日本フィランソロピー協会様の「誕生日寄付」からのご寄付を活用させていただきました。ありがとうございました。

4 『権利から始まるリソースマップ』 by チームクリフ



精神疾患をかかえる親といっしょに暮らしている子どもさんへ

あなたが自由に好きなことにチャレンジできるために暮らしをささえる仕組みがあります
のぞみを言うことは、わがままではないです

精神疾患をかかえながら子育てしている親のみなさんへ

自分らしい親でありたい、という願いをかなえる仕組みがあります



チームクリフは、精神障害のある親と暮らす子どもたちの「生きる」と「未来」を応援する研究者や NPO 法人から成る団体です。科学研究費補助金事業で 2016 年から活動しており、ぷるすあるは事務局機能を担っています。

2024 年に『権利から始まるリソースマップ』を作成、公開しました。病気や障がいをかかえながら子育てしている親、その子どもが、使えるかもしれない制度、人や場所について、「権利・望み」という視点からまとめたシートです。全部で 7 種類あります。

①②③は「精神疾患」編 * ④⑤⑥は「病気や障がい」編

それぞれ、子どもさんへ、親のみなさんへ、支援者の方へ、があります。

⑦は「家族の病気や障がい」と対象がひろがり、きょうだいや祖父母が病気や障がいをかかえている場合にも活用できます。2025 年には、全国自治体へ配布する予定です。

*2024 年 6 月に札幌で行われた、第 120 回日本精神神経学会学術総会 一般シンポジウム「患者からその子どもへ：精神科主治医の気づきから広がるヤングケアラー支援」で紹介しました。シンポジウムの企画者、小野美樹さん（東京医科大学 精神医学分野）に作成に協力いただきました。

東京医科大学のメンタルヘルス科の全ての診察室と待合に置いていただいています。「これがあることで子育てのことや子どものことを話題にしやすいです」「イラストがかわいくて手に取りやすい」とのこと。



びょうき しょう かぞく く こ
病気や障がいをかかえる家族といっしょに暮らしている子どもさんへ

あなたが自由に好きなことにチャレンジできるために
 暮らしをささえる仕組みがあります 😊 😞 😟 📄 🧑

あなたがのぞむことはありますか？
 のぞみを言うのはわがままじゃないです



**じぶんの好きな活動
 で息ぬぎがしたい** **C1**

育つ権利 (休む権利・遊ぶ権利)

- ・学校での部活動
- ・児童館、プレーパーク
- ・子どもの居場所事業 ほか

世話をしてほしい **C2**

世話 家族の世話・家事 etc

育つ権利 (休む権利・遊ぶ権利)

- ・家事援助 (ヘルパー)
- ・子育て世帯訪問支援事業
- ・通院等介助
- ・自治体独自の配食、宅食サービス
- ・子ども食堂、フードパントリー ほか

**家以外の場所に
 一時的に宿泊したい** **C3**

育つ権利 (休む権利・遊ぶ権利)
 個人の尊厳

- ・子育て短期支援事業
- ・子どもシェルター
- ・休日夜間緊急支援事業
- ・一時保護所、児童養護施設
 (児童相談所を経由した保護) ほか

子どもに保障されている権利です

**じぶんの話を
 きいてほしい** **C4**

参加する権利 (意見表明権)

- ・スクールカウンセラー、
 スクールソーシャルワーカー
- ・こども家庭センター
- ・こどもの人権110番
- ・ピアサポートの場
 (対面/オンライン) ほか

**生活に必要なものを
 そろえたい** **C5**

生きる権利 (生活保障)

- ・就学援助
- ・社会福祉協議会の総合相談
 (生活福祉資金の貸付ほか)
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・生活保護 ほか

**勉強を教えてほしい
 進路、進学を応援してほしい
 自由に学びたい** **C6**

学ぶ権利
 発達する権利

- ・担任、小中学校での学習支援
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・学習支援事業 (生活困窮者向け、
 ひとり親家庭向け等)
- ・教育センター、フリースクール
- ・地域若者サポートステーション ほか

**親の病気のことや対応
 について知りたい** **C7**

学ぶ権利

- ・主治医、病院ソーシャルワーカー
- ・精神保健福祉センター
- ・ヤングケアラー支援団体、当事者団体
- ・民間団体の情報サイト 絵本 ほか

このなかにはないけど
 こんなのがぞみがある

いっしょに考えてくれる人

- ・スクールソーシャルワーカー
 (またはスクールカウンセラー)
- ・こども家庭センター

記入日 年 月 日
 お名前

ささえるになるかもしれない仕組みや場や人です ※住んでいる所によって仕組みなどがちがうことがあります

※日本では、2023年にこども基本法ができました。こどもを支える国の仕組みが色々と整えられてきています。こどもを支える国の仕組みでは、6つの大切な考え方があります。あなたが大事に育てられ、生活が守られ、愛されていると感じられるように、また自分に直接関係することに意見を言えたり、さまざまな活動に参加できるように、ご家庭のサポートを提供しています。



5 サイト「子ども情報ステーション」

子ども情報ステーション（<https://kidsinfost.net/>）は、ぷるすあるはが運営する、精神障がいやこころの不調、発達凸凹をかかえた親とその子どもの応援サイトです。

10期の1年間に、48万人をこえるアクティブユーザーからのサイト訪問、延約212万ページの閲覧がありました。

子どもたちの安全と安心を守るアイテム

アクセス最多 「ダウンロード」コーナー

＜アクセスランキング＞

1. 調子を「伝えるカード」いろいろ
2. 困ったときカード・緊急のときカード
3. ハッピーカード
4. ストレスコップ
5. いろんなきもち日記
6. こころとからだのメーター日記
7. 簡単リラックス
8. プルスアルハの気づきのワーク
9. 体調ポスター・カード
10. ポジティブワード集

今期はリクエストを受けてのアイテム制作にも取り組みました。

こまったときカード

こまったとき・きんきゅうのときの電話

名前や場所 _____ 番号 _____

名前や場所 _____ 番号 _____

さいしょに言うこと「こまっています」「たすけてください」

こまったとき・きんきゅうのときに行く場所 _____

きんきゅうのとき 110/119 カード —たすけてくれます

★ ぼろよく 大声でさわぐ いのちがあふない	けいさつ 110	たすけてほしい ことをいう	名前 住所 電話番号
✚ 大ケガ たおれてる	しょうぼうしょ 119	「きゅうきゅうしゃ」 おねがいます たすけてほしい ことをいう	
🔥 かじ 火事	しょうぼうしょ 119	「火事」です	

移行先のWebサイトでは...

- 膨大な量の情報を整理してわかりやすい構成にします
 - イラストをデジタルデバイスで描きかえて統一します
 - 内容を見直してアップデートします
- 当初の予定よりも随分時間がかかっていますが...
よりよいものになるように取り組んでいます

ご支援ありがとうございました！

Webサイトのシステム移行のための寄付キャンペーンに163人のみなさまから1,294,728円のご支援をいただきました。応援メッセージ、ページのシェア、別のフォームからのご支援、絵画展会場での募金のほか、さまざまな形で応援いただいたすべてのみなさまへ感謝申し上げます。



子ども情報ステーション
by ぷるすあるは

6 声をありがとうございます



《読者カードより》いくつか紹介します

- ちしきのなさにりかいをまだまだされないぼくみたいなにんげんをこの本をおおくのひとによんでもらえたなら、もっとぼくたちもふつうにいきていけるのかもしれないと思いました。この本にであえてうれしかった、ありがとう！ ChrisTopher さん（『発達凸凹なボクの世界ー感覚過敏を探検する』）
- 子供も同じ状況で、おばあちゃんの家で預ける事が多く、最近「パパとママは何の病気なの？」と2年生になってから聞いてくるようになって、どう伝えていいか悩んでいたの、すごく参考になりました。（『ボクのせいかも ... - お母さんがうつ病になったの』）
- 選択肢が広がるまで行く手助けにこの本がなってくれるとよと思った。（『生きる冒険地図』）
- 子育て中のお母さんへの応援メッセージが詰まっています、イラストも優しく温かい色づかいで、大変気に入りました（『ゆるっとこそだて応援ブック』）
- 後半は字がおおくて、でも、熱意が伝わります。学校の保健室に常備してほしいと思いました。たえごんさん（『ここにケガをしたらトラウマってなんだろう？』）
- ちあきさんの、気持ちがほっこりする絵がとても好きです！ステキな絵本をつくっていただき、ありがとうございます！職場で「ここにケガ」をしたお子さんと出会うことが多いので、本人と一緒に読むだけでなく、周りの大人にも読んでもらい、支援の輪を広げていきたいと思っています。（『ここにケガをしたらトラウマってなんだろう？』）



《キッズパワー登録時の応援メッセージより》

だいふくさん／うつ病の親をもつ子どもの当事者です。ぶるすあるはさんの活動を知り、私も誰かの支えとなる人になりたいと改めて感じました。子どもの立場なので、今できることは限られてしまいますが、私も少しでも貢献できるように活動していきたいです！応援しています！ * るーさん／発達のちがいを絵というかたちで知ったり、理解したりする活動、とても素敵です。ちいさいひとにもわかりやすく、そして保護者さんや先生方もつかえる教材にもなり、ぶるすあるはさんが創られるカードや絵本はもっともっと広まってほしいなあとおもいます。 * ぴよさん／子どもにとって良い取り組みは、おとなにとっても良い取り組みだとおもうので、とてもとても、応援しています。 * にころさん／手に取ってほっとできる、そんな本が多くの方に届きますように * ふっかさん * ユコナさん／私自身、精神疾患（双極性障がい）がありながら、1歳半息子の子育てをしております。自分の病気と向き合いながら、更に子どもを育てるのに、とても四苦八苦しております。同じ様なママ、子どもの気持ちに寄り添う事で、自分にとってもプラスになるんじゃないかと思っています。 * ツナマヨさん／始めて読んだ時、こういうのほしかった！と思いました！ * あきさん * AMAさん／学校に行くのがしんどいなあ、とか、子育てにちょっと疲れた、というのは、なかなか口に出しにくいかもしれません。そういう人に”とっておき”の絵本があります。



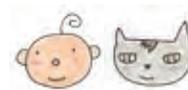
えみとみらいさん／応援が必要なときはだれかー！って言おう！ワタシも言うね！ * たまさん／気がついて、行動することを応援したい。自分ができそうなことから、一歩踏み出そう。 * みずちゃんさん／ぶるすあるはを知ってから、もう長くなりました。いつも私自身の子育てにおいても、仕事においても多くのパワーをいただいています。絵本も全て揃えたいくらいです。これからコツコツ絵本もぶるすあるはも広めていきたいです。 * サクランさん／少しでもこのような活動や知識、情報が広まりますように。自分にもできること、できそうなことを見つけて、実践します。しーさん／取り組みをつづけてくださってありがとうございます。私もこの輪をつなげていけたらと思います。

とらさん／特別支援教育に携わっている小学校教員です。子どものことを理解するために数年前からチェックして学ばせていただいていた。感謝とともに応援しております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。 ＊ 匿名さん／これまで、小学校児童、先生に絵本をお伝えし共感して頂きました。今後、市として取り組んでいきたいです。 ＊ ino8さん ＊ りすさん／あたたかいとりくみとイラストでチカラをわけてもらい、とてもココロがなごみます。 ＊ しまりすさん／子どもたちを真ん中にした大切な活動をしていただき、ありがとうございます！イラストも温かい気持ちになります。 ＊ カレンデュラさん ＊ みくさん／様々な思いや生きづらさを抱えている方もいると思います。私の母は統合失調症でした。症状に振り回される母を見て私自身も振り回され毎日不安な思いでいっぱいでした。似たような境遇の人もいるかもしれません。しんどい思いが少しでも和らぎますように。楽しい日常がありますように。

たくさんのメッセージ
とても励みになっています
ありがとうございます！



9さん／私の母が統合失調症です。子供の時に感じた不安など…今不安を抱える子供達の力になればと思っ
て微力ながら応援したいです。 ＊ てっちゃんさん／ぷるすあるはさんの絵本の絵がとても好きです。こ
の絵本が、必要としている子どもは当然のこと、もっと社会全体に広まればいいなと思っています。そう
なれば、社会はもっと子どもに優しくなり、子どもが生きづらさを感じなくてすむ場所になると思うので。絵
本をひろげる活動、応援しています。 ＊ みるくさん／うつ病当事者です。子どもを望んでいますが、不
安が大きく、妊活に踏み出せないでいます。精神疾患の患者と、配偶者や子どもなど周りの人が、少しでも
生きやすくなるよう願って、ぷるすあるはさんの活動を応援します。 ＊ よひろんさん／自分が子供の頃
に出会いたかったぷるすあるは。大人になって出会い、少しずつですが生きづらさから解放されてます。子
供たちに是非知ってほしい事がたくさんあります。もっともっと広がってほしいです。 ＊ こまちさん／
発達障害児支援に関わったことがあり、絵カードには馴染みがありましたが、ぷるすあるはさんの絵のタッ
チはとても可愛くて、どれも和んで温かい気持ちになれると感じました。活動を応援させてくださいね。
＊ さわさわさん ＊ ひささん／凄い絵本いいです頑張ってください ＊ ひろさん／日本の精神疾患の
診療や支援に非常に効果的なツールだと思います。社会が継続を応援していくべき活動だと思います。この
活動を始めてくださって、ありがとうございます。



7 実績

1) メディア掲載

- ・2024.9.13 長崎新聞「諫早・鎮西学院大生「ゲートキーパー」若者に自殺予防の呼びかけ」（アプリ「おたすけことてん」のチラシも配布されている様子が写りました）
- ・2024.9.11 NHK「世界自殺予防デー 学生と市職員が自殺予防の呼びかけ 諫早」
- ・2024.6.15 人権教育啓発情報誌「アイユ」メンタルヘルスの集い 第38回日本精神保健会議
- ・2024.3.31 日本養護教諭教育学会誌第27巻第2号 特別講演「体験談から考える子どものきもち」
- ・2023.12.1 月刊みんなねっと 2023年12月号 知りたい！聴きたい！こんなとりくみ（第33回）みんなねっとの表紙を52回飾った「ぷるすあるは」の取組
- ・2023.11.4 上毛新聞（ヤングケアラー研修会）
- ・2023.10.14 東京新聞夕刊（その「きもち」そのままがいいよ つらい経験をした子どもたちへ メッセージを本に）
- ・2023.10 NHK すくすく子育て ch 「生きづらさ」のある子育て 団体・サイト紹介
- ・月刊みんなねっと 表紙連載（～2023.12）

2) 講演、学会・イベントでの発表、寄稿など（参加者概数）

- ・2024.8.7 子どもの虹情報研修センター教育・福祉虐待対応職員合同研修「トラウマについて子どもと学び子どもと取り組む絵本」(301)
- ・2024.8.2 さいたま市教育委員会学校カウンセリング応用研修会(37)
- ・2024.6.30 日本精神衛生学会 2024 年度 第 1 回研修会 登壇「ひらく・かんじる・よみあわせてみるワークショップー絵本を通してメンタルヘルス不調をかかえる親と子を支援するー」(24)

絵本を主役にした時間空間で、読み聞かせ、読み合わせ、ロールプレイ、グループディスカッション、シェアの時間…と参加型・体験型の企画でした。上野里絵さん（聖徳大学）と共に講師として参加しました。



- ・2024.6.20 第 120 回日本精神神経学会学術総会 一般シンポジウム 登壇「患者からその子どもへ：精神科主治医の気づきから広がるヤングケアラー支援」
- ・2024.6.15 「心と社会」55 巻 2 号 no.196 2024 日本精神衛生会 (寄稿)
- ・2024.5.1 チャイルドヘルス2024年5月号「養育者のこころの健康ー子どもからのまなざしを含めて」(寄稿)
- ・2024.4.8 『みえない優しい傘』東京ソテリア／編著，現代書館 (寄稿)
- ・2024.3.13 高崎健康福祉大学講演 (30)
- ・2024.3.3 さいたま市市民後見人養成講座 (50)
- ・2024.3.2 メンタルヘルスの集い (第 38 回日本精神保健会議) シンポジスト「親が精神障がいをかかえている子どもたちを“情報”で応援する活動より」
- ・2024.2.2 さいたま市児童厚生員研修 (32)
- ・2023.12.9 さいたまごちゃまぜの会 (埼玉県立大学研究開発センター) 情報提供
- ・2023.12.9 日本養護教諭教育学会第 31 回学術集会 特別講演「体験談から考える子どものきもち」(298)
- ・2023.12.2 日本精神衛生学会 第 39 回大会 委員会セミナー「こころの不調を抱える親と子どもの成長」(417)
- ・2023.12.5 さいたま市シニアユニバーシティ (24)
- ・2023.10.23 / 11.16 明和町講演「体験談から考えるヤングケアラー支援」(70 / 43)
- ・2023.10 こども家庭庁 2023 年度母子保健指導者養成研修 (オンライン配信) (1,000)

3) 制作 (オリジナル・コラボレーション・作品提供)

- ・表紙に作品提供『みえない優しい傘』東京ソテリア／編著，現代書館
- ・リーフレット・カード (墨田区子育て支援総合センター)
- ・高次脳機能障害啓発アイテム (さいたま市高次脳機能障害者支援センター)
- ・リーフレット「ヤングケアラーって？」(明和町健康こども課)
- ・オリジナル絵本『こころにケガをしたらートラウマってなんだろう？』(ゆまに書房)



4) イベント出展

- ・2024.9.21-22 日本子ども学会第 20 回学術集会 (絵本見本・絵画設置)(200)
- ・2024.8.19-25 さいたま市高次脳機能障害者支援センター共催絵画展 (2,682)
- ・2024.8.24-25 日本学校ソーシャルワーク学会第 18 回埼玉大会 (絵本の見本ブース設置) (455)
- ・2024.7.29-10.9 はじまりの美術館企画展『物語ることも、物語らないことも、物語れないことも』(2,119)
- ・2024.2.23-24 日本心理教育・家族教室ネットワーク第 24 回研究集会 関東大会 (600)
- ・2023.11.25-26 日本子ども虐待防止学会滋賀大会 (3,000)
- ・2023.10.29 リカバリー全国フォーラム 2023 (1,000)

5) 定期刊行物（子どもと親のケアガイド）

- ・2023 年秋冬号 2,000 枚
- ・2024 年春夏号 4,000 枚

ケアガイド 2024 版～ 内容をリニューアルしました
絵本とアイテムカタログ 2024 新たに作成しました

6) 受賞歴

2024 年 9 月 第 2 回小林登「子ども学」賞 受賞

小林登「子ども学」賞は、日本子ども学会の創設者であり、ご専門の小児医学を超えて、幅広い分野の学問に関心をもたれ、子どもの幸せに配慮した社会をつくることに尽力された小林登先生のお名前を冠した学術賞です。

「素晴らしい賞をいただき大変光栄です。そして、今まで繋がりのない人にもぶるすあるはを知ってもらえる貴重な機会となりました。ありがとうございます。これまで応援してくださったみなさまにもお礼を申し上げます。」



2024.9.22 授賞式

日本子ども学会第 20 回学術集会@八戸にて

＼ありがとうございました／

ご寄付で活動をささえていただきました

毎月のご寄付をいただいているみなさま、木下万暁さんのお仲間のみなさま、公益社団法人日本フィランソロピー協会様、「誕生日寄付」でご寄付いただいたみなさま、一般財団法人高橋貞子記念会さま、クラシエ株式会社さま、Madhappy Japan さま、ご寄付いただいた個人、団体のみなさま、ありがとうございます。

Special Thanks

えほつなチームのみなさま

8 「はじまりの美術館」 展覧会レポート 社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館

『物語ることも、物語らないことも、物語れないことも』



2023年7月29日 - 2023年10月9日、福島県耶麻郡猪苗代町のはじまりの美術館で行われた企画展に、出展作家のひとりとして参加しました。

『気づく・えらぶ・伝える ころとからだコンディションカード』（合同出版）の展示という、私たちが初めて体験する内容です。シンプルな展示が素敵で、この建物と空間のもつふしぎな力にもひきこまれます。築140年の酒蔵を改修し、2014年に誕生した美術館です。ご一緒している作家さんたちの作品と展示がまた素晴らしく、じっくり楽しめる企画でした。

コンディションカードは、「きもちカード／からだカード／脳とこころカード」に加えて、「きぼうカード」と「白のカード」があります。自分の調子や希望に気づいたり伝えたり... そして、語らない、語れないことも含めて、余白のあるアイテムです。チアキのイラストと言葉からなるカードの力に注目していただき、このような貴重な展示の機会をいただき、ありがとうございます！足を運んでくださったみなさま、ありがとうございました。

出展作家 井上優、岡部亮佑、鴻池朋子、ぷるすあるは、本田正、渡邊のり子



- カード、絵本やサイコロを自由に手にとっていただける構成でした。サイコロも人気だったそうです。
- 靴をぬいであがる美術館です。素足で床の木に触れる感覚が気持ちよかったです。
- 館の入り口に、自分のきもちのカードを自由に描くことができる常設ワークショップがありました。会期終盤には、壁からはみ出しそうなたくさんのカードが！眺めているだけで楽しい空間でした。



photo : shirado ryoji

9 さいたま市絵画展レポート @さいたま市立大宮図書館

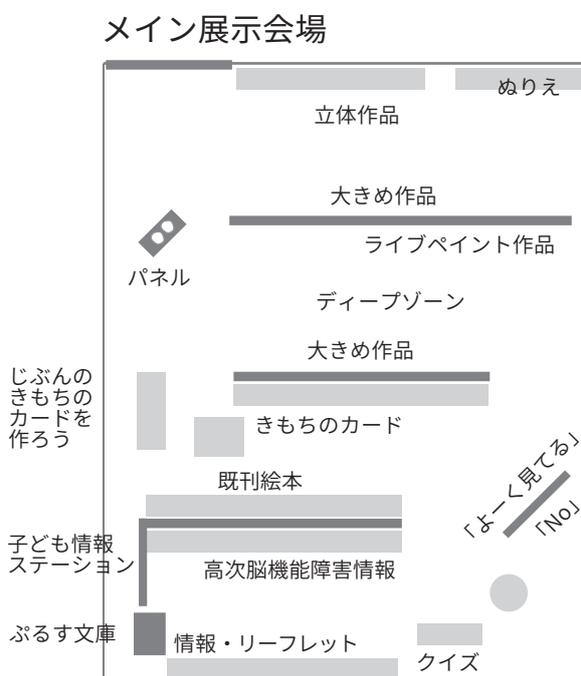
『いろんなきもちだいじょうぶ。ぷるすあるは絵画展&高次脳機能障害って?』

2024年8月19日-25日、さいたま市高次脳機能障害者支援センターと共催の絵画展を開催しました。4年連続の開催です。アクリル絵の具の作品がおよそ50点、絵本の原画のレプリカが24点。そして、絵本の原画、ポスター、きもちのカード、ロボット作品など、明るい空間のなかにチアキの作品が映えました。

会期中、およそ2,600名の方が展示をご覧くださいました。昨年同様に人気だった高次脳機能障害クイズには約900人、週末の工作室には240の方が参加されました。ダンボール工作は子どもたちのエネルギーあふれる楽しい空間になりました。今年アルバムは工作室です。

お越しいただいたみなさま、開催に尽力くださったみなさま、画面の向こうから見守ってくださったみなさま、ありがとうございました。

今年もご協力いただいた、さいたま市立大宮図書館さまへ、ありがとうございました。



えっ! かいがてん
絵画展へ
いこう

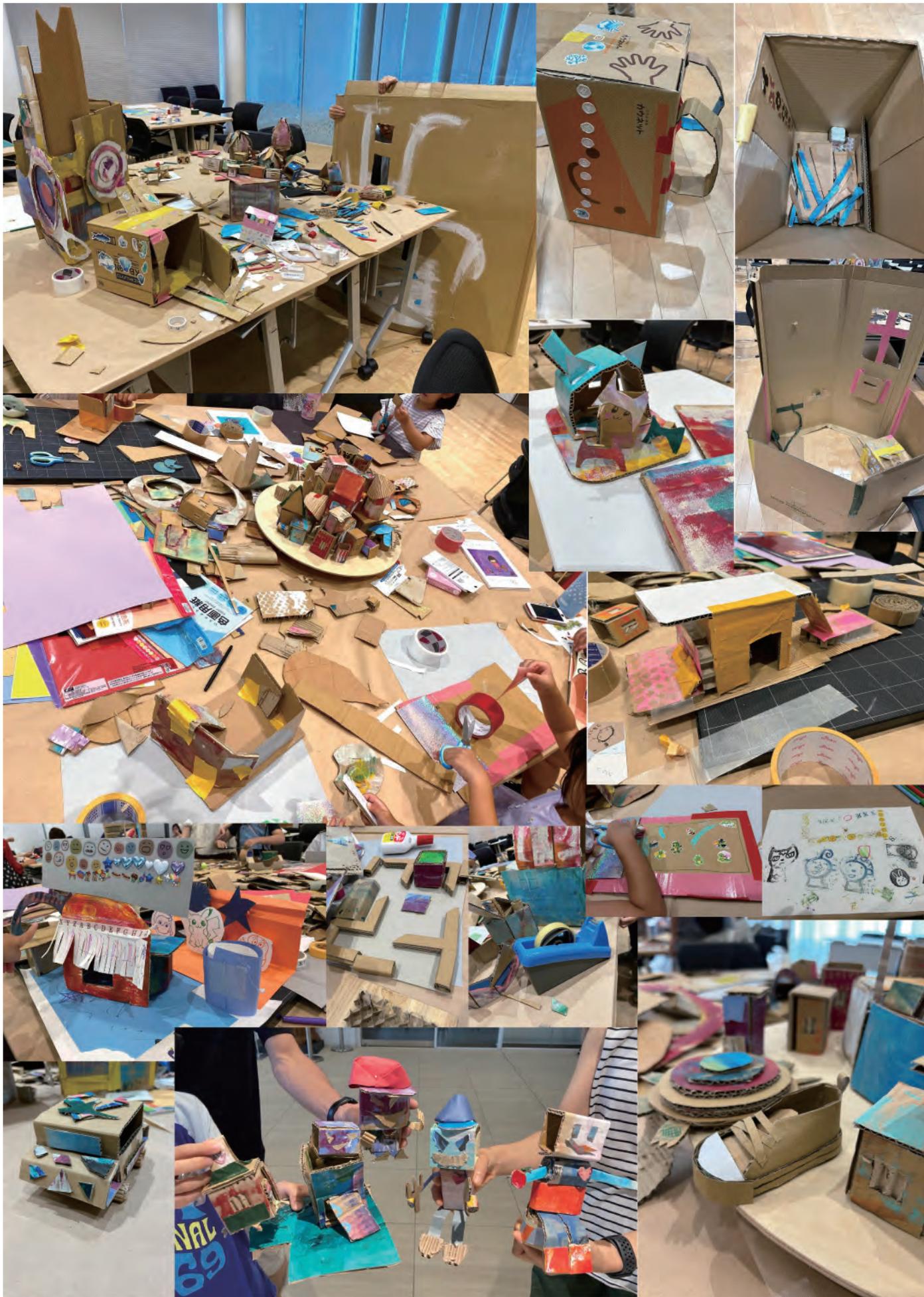
今年初めての試みとして、絵画展のガイド(12ページ)を作成しました。くわしいアクセス、建物の設備、展示会場の感覚刺激などについて説明しています。次回は来場者の方の具体的なニーズや疑問に添えるような内容にバージョンアップしていきたいと思っています。

本絵画展のための描きおろし 727×606mm アクリル絵の具



No
 ちょっと No
 だいぶ No きっぱり No
 No もいろいろ
 No は自分を守る大切な主張
 No って言ってい
 だけど言えなくても
 自分を責めないで
 No って気づけたらそれでよしと

よーく見てる
 子どもは見てる、大人のこ
 …なにを
 大人同士でいじめしてない?
 会話して
 子どもにあやまれる?
 一方的じゃない? ...
 がちゃがちゃしてるとこでも
 よーく見てる



「想像したより、もっともっと広くて自由な”工作”の世界！」 工作室リーダー |

ぷるすあるは絵画展

12 役員・スタッフからのひとこと



1年間ありがとうございます。
今年は子ども情報ステーションのリニューアルに向けてイラストをデジタルで描き直しました。
今後ともよろしくお願いいたします。
チアキ

「子ども情報ステーション」のリニューアルが、想定外の大工事となっています。まわりのご意見をお聞きしながら、開設から10年の年月を感じながらの作業です。スマートフォンの画面にあわせた、直感的に内容がわかる提示の工夫、内容の見直しとイラストの描きかえ。なにより膨大な情報やアイテムの整理。変えるところ、変えないところ、手がまわらないところ、いろいろありますが、よい塩梅のところ...《ココにくるとちょっとホッとできて、情報やアイテムを持って帰れるような場所》にできたらと思います。11期もよろしくお願いいたします。
代表 キタノ



副代表
吉岡



ぷるすあるはに携わって足掛け10年になりました。初心を忘れず、活動が円滑に行えるよう第11期も頑張ります！
事務担当 yuko

AIが発展していく世の中、一方で目に見えないヒトのきもちに一層注目が集まっています。ぷるすあるはの活動への引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

監事 池山



10期は外部パートナーさんのお力もお借りして、法人サイトのリニューアルや団体ビジョンの見直しことができました。

11期も「必要な人に有益な情報を伝える」という基本をぶらさず、情報ステーションのリニューアルをはじめとした様々なプロジェクトに取り組んで行ければと思います。

理事 林



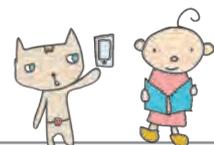
いつもあたたかい応援ありがとうございます。今期もどうぞよろしくお願いいたします。

アドバイザー・サポーター 芦高



第11期のぷるすあるは

- サイトのシステム移行を完了し、新しくなった「子ども情報ステーション」でさまざまな情報をみなさまにお届けします！
- こころのケガがテーマの絵本の関連アイテム（ワークブック）を作成します
- 「権利から始まるリソースマップ」と子どもへ親の病気を伝えるためのツールを制作し広げます
- 絵本サポーターさんを通して絵本をひろげる取り組みをつづけます
- 絵本やアイテムの活用例集の準備をはじめます



ぷるすあるはの情報発信

今動いていることがわかるまとめページ



子ども情報ステーション



オンラインストア



LitLink



X

こまめに投稿中



facebook



youtube



instagram
(チアキ)



TikTok
新規投稿できてません…



iOS



Android

ウェブ版



無料アプリ「おたすけことてん」

ぷるすあるはの活動を
寄付でサポートいただけ
たらとても心強いです！

NPO法人 ぷるすあるは

第10期 事業報告書 2023.10.1-2024.9.30

2025年1月発行

〒338-0012

さいたま市中央区大戸 1-14-10-105

Tel / Fax 048-717-5639

<https://pulusualuha.or.jp>

